

9/20～
10/14

電車やバスに乗って出かけよう！ 県・市町村統一ノーマイカー運動

9月20日から10月14日まで、平成30年度「県・市町村統一ノーマイカー運動」が実施されました。

この運動は、県民、企業、行政が一体となって、県内公共交通利用の促進や路線の維持、活性化を呼びかけるもので、県民の皆さんに実際に電車やバスなどを利用し、マイカーに過度に依存した生活を見直していただくことなどを目的としています。

林市長もこの運動に参加し、路線バスを利用して登退庁しました。



9/24

笑顔あふれる 子どもまつり & ボランティアまつり

児童館で毎年開催されている「子どもまつり」と、市ボランティア総合センターと社会福祉協議会、青年会議所が昨年から開催する「ボランティアまつり」が同時に開催され、いきいき元気館は多くの家族連れで賑わいました。

「みんなの笑顔がここにある」をテーマに、屋内外の会場には手話や未病対策、西日本豪雨災害被災地支援チャリティーバザー、玉入れゲームなど28のブースが並びました。

来場者は「子どもと一緒に楽しみながら健康やボランティアについて考えることが出来た」と笑顔で語ってくれました。



9/24

「富富富」見事に実り 新嘗祭 献穀 斎圃 拔穂祭

新嘗祭に献上する拔穂祭が、布施地区の献穀田で行われ、刈女姿の川邊 愛美さん、前田 美羽さん、山下 星歌さん、森 佑奈さん、森 姫愛乃さんが厳かに太鼓の音に合わせ、黄金色に実った富山米新品種「富富富」を一手ずつ刈り取りました。

神事後、献穀奉耕協力会長の伊藤宣良氷見市農協組合長が「平成最後の新嘗祭に氷見市で育てた新品種を奉納できることは大きな喜びです」と挨拶し、奉耕主の山下 茂昭さんは、「8月の猛暑、9月の長雨といった中、見事に実り、組合員一同安堵しています」と述べました。

10月下旬に精米した1升が宮内庁へ献納され、11月23日の新嘗祭で使われる予定です。



9/29

先人の苦勞と知恵を知る

「水郷稲作の稲刈り体験学習」

朝日丘、十二町小学校の約 17 組の親子と、十二町地区の住民でつくる「深田の会」の会員らが参加し、同地区の水田で稲刈り体験学習を開催しました。

十二町瀨周辺の深田で先人が苦勞した米作りを学び伝統的農法を傳承することや、新しい地域づくりの輪を広げることを目的に、毎年開催しています。

小雨の降る中、参加した児童たちは、5 月下旬に植えた黄金色に実った稲を鎌で丁寧に刈り取り、刈った稲のはさ掛けを行いました。

今回刈り取った新大正もちは、11 月に行われる収穫祭の餅つきに使われ、子どもたちは「お餅が楽しみです。必ず行きます」と体を動かし暖かくなった頬に笑み浮かべました。



9/29

富山湾を五感で堪能

中日本サイクリング大会 in とやま 2018

阿尾の民宿「磯の音 氷見っ子」を発着点に、第 50 回中日本サイクリング大会 in とやまが開催され、県内外から 63 名が参加しました。

この大会は日本サイクリング協会が中部地区の富山、石川、福井、愛知、三重、静岡の 6 県で毎年開催しており、富山県では 6 年振りとなります。

参加者は、富山湾を眺めながら軽快な走りを見せ、昼食には富山の食材を使った「白えびづくし御膳」などを楽しみました。



9/29

富山湾の魅力に触れる

世界で最も美しい湾ウォーク～氷見湾岸～

漁業文化交流センターを発着点に世界で最も美しい湾ウォーク～氷見海岸～が開催され、市内外から 25 人が参加しました。

これは「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した富山湾の魅力に触れてもらおうと、県ウォーキング協会と県生涯スポーツ競技会が富山湾に面する県内市町村で毎年開催しているものです。

参加者は小雨の降る中、笑顔を見せ軽快な足取りで富山湾を眺めながら市内の景勝地へと繰り出しました。



10/1

氷見市と氷見伏木信用金庫との公民連携 行政実務研修員を受け入れ

市は、地方創生に向けた公民連携による取り組みの一環として、氷見伏木信用金庫と「行政実務研修の実施に関する協定書」を取り交わしました。

両者は、平成 29 年 2 月に「地方創生に係る包括連携に関する協定」を締結し、これまでブリ奨学プログラムや JR 氷見線応援委員会の運営などの事業を連携し進めていました。なお、市では民間企業の職員を研修員として受け入れるのは初めてのことになります。

10 月 1 日から 3 か月間ごとに 3 人の 30 歳前後の若手職員が、地域に根差した金融機関職員ならではの経験と民間企業のノウハウを発揮して、空き店舗対策、創業支援、観光資源開発などに取り組みます。



10/5

氷見牛ブランドの確立と消費拡大に向けて 氷見牛フェスタ(オープニングセレモニー)

氷見牛フェスタ(～11 月 4 日(日)まで開催中)のオープニングセレモニーが開催され、参加店の特別メニューの試食などが「氷見牛焼肉しゃぶしゃぶ牛屋」で行われました。

今年で 5 回目となるこのフェスタは、氷見牛の生産者、販売者などからなる氷見牛ブランド促進協議会が、氷見牛のブランド確立と消費拡大につなげるため、開催している取り組みです。

南協議会長の挨拶や枝肉共進会の表彰式の後、今年から参加店に加わった焼肉・鉄板焼き専門店「牛屋-鐵-」と合わせて全 7 店舗の氷見牛の握り寿司やステーキなど特別メニューが紹介されました。



10/8

ハロウィン限定!! 仮装を楽しむ キャラクターグリーティング

藤子不二雄[Ⓐ]先生の大人気キャラクター「怪物くん」のキャラクターグリーティングが潮風ギャラリーで開催されました。

10 月 6 日からの 3 連休限定の特別イベントとして、ハロウィンマントを着けた怪物くんと会うことができるということもあり、県外からも多くの家族連れらで賑わいました。

来場者はハロウィン仕様の帽子や小物で、仮装した姿での写真撮影などを楽しみました。



©藤子スタジオ

10/13

プロから学ぶ!!
お魚さばき方教室

地元の漁師さんら 4 人を講師に招き、魚のさばき方の基本を習う「お魚さばき方教室」が創作工房ひみで開催されました。

これは包丁さばきや料理のコツを聞きながら、実際に自分たちで魚をさばく体験・試食をすることで、魚食文化の普及や浸透を図ることを目的としています。

参加者は、プロのさばき方を見た後に、ふくらぎやカマス、カワハギなど朝水揚げされたキトキトの魚をさばき、お刺身づくりなどを体験しました。



10/14

氷見市美術展覧会

第 56 回氷見市美術展覧会が 10 月 10 日から 14 日、ふれあいスポーツセンターで開催され、日本画、洋画、彫刻工芸、書、写真の 5 部門に出品された 141 点の力作に来場者は見入っていました。

最終日には、各部門の審査員による作品解説があり、入賞作品を中心に評価のポイントなどが披露されました。続いて、入賞者の表彰式が行われ、終日、多くの来場者で賑わっていました。



【市展大賞入賞者】

浜出 民雄 氏 (日本画の部)

森 多加子 氏 (洋画の部)

沖 宗紀 氏 (彫刻工芸の部)

森田 完司 氏 (書の部)

松野 健治 氏 (写真の部)